



朝夕や休日には渋滞が続く国道57号

見直したい。公共交通機関の利用

原油高騰に渋滞、環境汚染：—— 求められる「効率性」——

近年の原油高騰の影響を受けて、自家用車から公共交通機関への利用を考える方も多いと思います。また、2011年に九州新幹線全線開業を控えており、これまで以上に阿蘇地域での2次・3次アクセスとして、公共交通は地域住民のみならず観光客の交通手段として重要なものとなってきています。そして今後は、地球温暖化防止につながるCO2削減、渋滞緩和のためにも自家用車から公共交通機関への利用切り替えを考えなければなりません。

高齢化が進む地方にこそ公共交通整備が不可欠とされる今、より効率性に優れた交通手段を見出していく必要があります。

市の公共交通機関の現状

【路線バス】

通学や通院、買い物などの日常生活活動を支え、阿蘇を訪れる観光客の移動手段として重要な役割を担っている路線バスは、市内をはじめ小国、産山方面な

どへの運行を行っています。自家用車などの普及によりバス利用者は年々減少し続けており、利用者の減少はバス事業者の収支悪化を招き、さらに近年の原油高騰が追い討ちをかけている状況にあります。

市では路線バスの公共性を重視し、バス事業者に対し補助金を交付（運行費補助）、赤字路線の維持に努めています。

しかしながら、路線バスの利用状況等からそのあり方を抜本的に見直し、地域にあった交通手段を模索し始めています。

地域の实情に合った運行へ

路線バスにおいては、利用者の多くが高齢者や学生ですが、新幹線開業を睨み観光客の取り込み（乗車率アップ）が路線の維持には大変重要なこととなります。このことから、行き先が分かりやすく、安心して目的地に着くことが出来るようバス事業者と協力して一昨年から路線再編に取り組んできました。

これまで32路線あったバス路線を15路線にし、複雑に絡み合った路線を集約。波野方面へのうぶやま環状線の新設や環状線（阿蘇駅 宮地 内牧）の拡充、さらに内牧支所の移転先である総合センターへの乗り入れを開始しました。また、観光客の利用を促すようなバス停留所の新設や名称変更、JRとの接続改善などに取り組んでいます。路線再編の過程で路線を廃止した地域には、地域の理解を得ながら乗合タクシーを導入しています。



平成19年度
路線バス運行費補助額
熊本県 649万4千円
阿蘇市 6,280万6千円
(バス乗車料金で見る割合は
25%が乗客負担。75%
が県・市負担)





乗合タクシーの利用風景

乗合タクシー利用者の声

「かかりつけの病院まで普通のタクシーで往復2000円でしたが乗合タクシーでは500円です。病院前で降りしていただけるし、バスより停車が少ない分早く到着します。乗ると市の負担になると思い利用に気がついていましたが、バスを運行させるより経費がかからない事や買い物に寄る商店街の活性化、高齢者の引きこもり防止などにもつながる事を知り、皆さんにも利用をお勧めしたいと思います」

商店街の声

「医療機関前の駐車場は整っていますが、商店街を利用しやすい乗り降り場所の設置や時間調整、増便ができればいいですね。多くの方々に商店街に来ていただきたいと思いますので、私たちも高齢者の方にはイスをお貸ししたり休憩所を設けるなど、心地よい商店街づくりに努めたいと思います」

阿蘇市は、広大な面積に集落が点在しており、各集落とも過疎化、高齢化が進んでいます。高齢者の方々が、安心して慣れ親しんだ地域で暮らすため、通院や買物などの日常生活活動に公共交通の整備は必要不可欠です。このようなことから、地域の将来を見据え、地域での生活が維持できるよう、路線バスを廃止した地域や公共交通機関のない地域に乗合タクシーを導入しています。

乗合タクシーは、このような地域と公共施設や商店街、医療機関のある町中（宮地、内牧）を結ぶ公共交通機関の一つです。民間のタクシー会社が運行していますが、普通のタクシーとは異なり、あらかじめ指定された運行日、運行時間に利用者が事前に電話予約し、他の予約者がいれば乗り合いで利用する事となります。

現在、市内4地域で導入しており、徐々にではありますがその利用が増加傾向にあり、利用される方々の喜びの声も聞かれるようになりました。今後も地域の現状や地理的要件を勘案し導入地域を広げて行きたいと考えています。

料金は、地域によって統一していません。本市は、タクシーの実績運賃から個人の料金を差し引いた金額を補助金としてタクシー会社へ助成しています。

乗合タクシーのご利用をお願いします！

【乗合タクシー導入地域と運行先】

- 荻の草地域 宮地（荻の草地域：荻の草区、舞谷区）予約 ☎ 090-8764-5151
- 鍋釣線地域 内牧（鍋釣線地域：南宮原区、湯浦区、西湯浦区、西小園区）
予約 ☎ 090-4350-7826
- 永草地域 内牧（永草地域：永草区、枳区、赤水区の一部）予約 ☎ 080-1543-1212
- 深葉地域 内牧（深葉地域：深葉区）予約 ☎ 080-1543-1212

定期券・乗車券の購入に
ご協力ください！



赤水駅、内牧駅の無人化対策
公共交通に関連して、JR赤水駅、内牧駅では券売業務をJRから市が受託し、民間会社へ再委託しています。乗車券の販売手数料により運営費用を賄っています。駅の無人化を避けるためにも各駅を利用される皆さんの定期券をはじめとした乗車券の購入をお願いします。



「未来の私達のために」

阿蘇高校生徒会長 緑 夏美

私達が利用するバスや電車は近年、自家用車等の普及により利用者が減少している現状にあります。観光地として有名なこの阿蘇に住む地域住民として、豊かな自然を守るため、より住みやすい町にするために、まず私達ができることは公共交通機関の利用だと思えます。送迎や買い物等で利用する自家用車を電車やバスに変えるだけで、環境に優しく、そして私達自身の事故防止にもつながるので、

次世代を担う私達に最も必要とされる、公共の場でのマナーや自立心を学ばせてくれる、それも公共交通機関の重要な役割のひとつなのではないでしょうか。

国際環境観光都市「阿蘇」にふさわしい、公共交通環境をつくるために。
私たちに出来ることからやってみよう!

【通学の立場から...】

市内2つの高校で現在どれくらい利用しているかというところ、阿蘇高校が約32%、阿蘇清峰高校が約35%となっています。3割を超えている生徒が利用している大切な通学手段だからこそ、維持のためのプ

ラス材料を考えていかねばなりません。今回、生徒を代表し、JR

通学でもある、阿蘇高校生徒会長

緑 夏美さん(2年)に、また、18年

間毎朝、児童生徒の通学を見守る

交通指導員の岩下宗則さん(宮地)に地域の公共交通について考えて

いただきました。



毎朝の交通指導で子どもに安心とマナーを

18年前から毎朝、阿蘇高校前の県道に立ち、交通事故から児童生徒を守り続けている岩下宗則さん。始められた理由に「ここは、道幅が狭い上に通行量が多い。特に朝は出勤で急いでいる人が多く危ない。バス停留所もあり乗り降りが頻繁。さらに最近では、児童生徒の送迎が増え、渋滞を引き起こす原因とな

つたり、事故になる危険性もある」と岩下さん。ひと時も気をゆるめることなく懸命に交通整理される姿に頭が下がります。これまでを振り返り「子どもさん方がとても素直だから苦になりません」と岩下さん。毎朝互いに挨拶を交わし、子どもたちに安心感を与えています。



交通指導員岩下宗則さん

路線バス時刻表を各世帯に区長回覧で配布いたします。ぜひご利用ください。